

令和7(2025)年度 児童館事業年間活動報告書

義正児童館

活動名	実施回数	参加人数										合計	内容	成果と課題	
		乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア						
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人				
ぬりえクラブ	23		3	291		42							336	きれいにぬるコツをつかみ、様々なぬりえを楽しむ。	前後期ともに申込人数が多く、とても人気のクラブとなっていた。また、半期ごとのぬりえコンクールを楽しみにしてぬりえに励んでいる子もいた。
卓球クラブ	40		45	23	26	44	3	1					142	ラケットの持ち方やサーブの打ち方など練習しながら、卓球を楽しむ。	6月に開催されたなかよし卓球大会に向けての練習として高学年の参加も見られたり、卓球への意欲を高めることにつながっていた。
おはなし会	12		7	151		10							200	毎月1回「京都おはなしを語る会」の方々に来ていただき、絵本の読み聞かせや民話などの語り聞かせ・素話を行った。昨年度末から2階図書室で、学童クラブは1年生と希望者を対象としていた。	素話が始まると集中して楽しんでいるこどもも多いが、自由に遊べないことへの不満を出すこどももいたため、実施方法を変更した。概ね聞く環境・態度等は改善したが、「京都おはなしを語る会」の方々の望んでいる形と子どもたちの想いをすり合わせてブラッシュアップしていく必要があると感じている。
けん玉・こまクラブ	21		11	179	1	14							205	持ち方や回し方から練習をし、様々な技の習得に向けて練習をする。「こま長回し大会」も行った。	職員に指導を受け、コツを教えてもらいながら練習を進めていた。クラブ以外の時間にも、こまやけん玉に励む姿が見られた。
避難訓練	10		12	281	9	44						2	348	火災や地震、水害等の災害時や不審者対応の避難行動訓練を行った。また、職員の消防訓練としても行った。	毎月様々な状況を想定した訓練を積み重ねることで、避難行動が身につけてきている。今後も引き続き、訓練の大切さを子どもたちに伝えていく必要がある。
児童館で楽しむウィーク	4		3	43	3	10							59	4月に自由来館の垣根を下げる目的で行い、ブラバンキーホルダー作りと館内クイズラリーを行った。	初めて児童館に来る児童もおり、そこからの児童館利用につながる事ができた。また、参加したこどもたちも喜んで工作とラリーに取り組んでいた。
高学年クラブ	10				55	22							77	毎月1回、子どもたちが企画した内容で、クラフトや水あそび、クッキング、遠足などを行った。	自分たちがやりたいことを形にしていくという経験でき、子どもたちの満足度は高かった。最後の回には、夜20時30分までのを行うこともでき、次年度への意欲を高めることにつながった。一方で、子どもたちが作り上げるというより、希望を言い、それを職員が実現できる形に持ってくる事が多く、高学年のクラブとしてより、自分たちで企画・準備する方向で来年度は運営していきたい。
卓球大会に行こう!	1				2	1							3	参加希望者を募って、なかよし卓球大会に出場した。	低学年、高学年それぞれが大会への気持ちを持って参加ができ、普段の児童館での練習とは違う雰囲気と気持ちを体験することができた。
てづくりウィーク	16		5	75		12							92	短冊書きとオリジナルの七夕飾りを作り、笹への飾りつけを行った。	七夕飾りは短冊を書き笹に飾り付けをしたことで季節を感じられる工作となった。工作の機会を増やすことも取り組んでいきたい。
開放デー	11						11						11	中学生対象行事として、中学生のしたいことができる日として行った。	よく来ていた中学生が高校生になり利用率が低くなったこと、担当職員の交代によって、つながりも薄くなってしまい、企画したものほとんど参加がなかった。次年度はよりしたいことを明確化するため、4月よりアンケートを取り、普段から利用している中学生のニーズに沿った企画ができるようにしたい。
ギネス世界記録チャレンジ!	16		11	80	5	21							117	「ギネス世界記録からの挑戦状」の企画に参加し、ギネス記録に挑戦する。	何かにチャレンジすることの楽しさ、自己目標の設定、達成したときの喜びを遊びの中で学ぶことができた。次年度以降はギネス世界記録が行わないと発表していたので、違う形で企画する予定。
ハイザイアート	1	5	3	37	1	8							65	スタジオぐるりに協力を得て、使われなくなった素材から自由な発想で工作を行う取り組みを行った。	廃材から自分の作品を作ることで、工作心や遊び心だけでなく環境への意識を高めることにもつながった。

子ども育成機能	基本	こどもえんげき広場カラダと想像力を使って遊ぼう！	3		1	42	3	11	15	72	「こどもえんげき広場」の企画に参加し、体を使った表現あそびを楽しんでいた。	体を使ったレクリエーションを行うことでリフレッシュできた。また、協力や共感など全員で楽しめるように考える遊びが多く、情操教育にもなっていた。来年度もぜひ参加したい。
	本	ペイブレード大会	1	1		9		1	1	12	「みんなの思いをきかせてボックス」の声から生まれた行事。児童館で初めてのペイブレード大会を行った。	こどもの声を行事へとつなげることができ、意見を出してくれたこどもだけでなく参加者の達成感や喜びにもつながった。年齢関係なく楽しめるので希望があれば続けていきたい。
	活	水あそび	1		1	12				13	館の庭に出て、水鉄砲や水風船などを使っての水遊びを行った。	季節の行事として行うことができ、こどもたちもとても喜んでくれていた。今年度はお盆の時期にも来てもらえるように日にちを設定したが、参加者が少なかったため、来年度は日程調整をして夏休みのお楽しみ行事として続けていきたい。
	動	ワクワクわくスタッフ会議	4		4	1		4		9	おとまり会に向けた企画・準備を行った。	高学年スタッフがしっかりと意見を出してくれて、また、それを形にすることができた。少人数ではあったが4ヶ月にわたる会議でスタッフの成長を見ることができた。
	育	マンカラ大会	1		2	4	2	2		10	マンカラの優勝者を決める総当たり戦を申込制で行った。	普段の児童館では感じる事が少ない緊張感の中、真剣勝負で試合を行えたことが参加者の貴重な経験・成長につながった。今年度は参加者が少なかったこともあり、総当たり戦で行ったが参加者はたくさん試合ができようこんでいた。
	成	ハロウィンディスタッフ会議	1				1	2		3	ハロウィンディに向けて企画・準備を行った。	ハロウィンあそびコーナーの準備や当日のお菓子配布等、しっかりと役割を果たしてくれた。参加を増やす工夫が必要。
	機	くじびき会	1		11	2		2	4	19	おとまり会に向けて、高学年スタッフのこどもたちが準備を行い、参加者への説明会を行った。定員未満のため、くじびき会は行わなかった。）	おとまり会に向けてのオリエンテーションという位置づけで、参加者に詳細を伝えることができた。また、高学年スタッフがしっかりと準備をしてくれた。
	能	中高生世代と赤ちゃんとの交流活動～にこにこ運動会～	1	4				27	6	37	高野中学校と連携して、幼児親子と中学生とのふれあい運動会を行った。	中学生がとても積極的に幼児親子に関わる姿が見られて、よい交流となった。行事後のアンケートからは中学生にとっても保護者の方にとっても、楽しく有意義な行事となったことがうかがえた。一方で一部の保護者にはこどもが人見知り場見知りしてしまいなかなか取組に入れない様子を見て、つらそうだった。うまくケアできるような声をかけていきたい。人がうまく集まらず乳幼児クラブだよりになっているところもあるので、参加プレゼントなど、参加者を増やせるよう努める。
		防犯教室	1		1	29		4	1	35	下鴨警察署スクールサポーターの方に講師として来ていただき、自分の身を守るために大切なことなどを学んだ。	普段あまり意識することが少ない自分の身を守ることにについて、年に一度であるがしっかりと考えることができた。
		おとまり会	2		13	17		4		34	「ようせいみんなのワクワクわくプロジェクト」として、企画募集から投票までを行い、2年連続のおとまり会となった。当日はみんなあそびや駄菓子の買物など、こどもたちがやりたいことを多く取り入れた。	「こどもまんなか」の取り組みとして、こどもの意見を反映する取り組みができた。高学年スタッフが企画や準備・しおり作成から中心となって頑張ってくれたことで、当日参加してくれたこどもたちの楽しみにつながった。一方で職員への負担も大きく、来年度は別の選択肢を提示する。
	中高生世代と赤ちゃんとの交流事業	4	30				53	22	105	東山総合支援学校と連携して、講師に助産師を招いての赤ちゃん講座、元児童館保護者による子育て講座を行った。命の成り立ちや出産、子育てについて学ぶ。子育て講座では、養正保育所の園児が来館し、遊びを通しての交流も行った。	関心を持ちながら積極的に参加する生徒の姿が多く見られ、活動終了後の感想では、命の成長への理解や自身への愛情の再確認などが開かれた。連続講座とすることで、より深い理解へつなげることができ、将来へのイメージを広げることができている。	
	ワイワイスタッフ会議	1				2	1		3	おとまり会に向けた企画・準備を行った。	高学年スタッフがしっかりと意見を出してくれて、また、それを形にすることができた。少人数ではあったが4ヶ月にわたる会議でスタッフの成長を見ることができた。	
	あったかプレゼント作り	9		1	44		2		47	今年度は養寿会の方から「ようせいあったかおとどけ隊」を当日に渡すプレゼント（千支の絵馬）作りとメッセージ書きを行った。	希望者だけではあったが、心を込めて作ったプレゼントで地域の高齢者の方が喜んでいただけるという経験が、子どもたちの達成感や自己有用感の向上につながった。	

	防災避難訓練	1			23		5		4					32	左京消防署、養正自主防災会、養正消防分団と連携をして、小学校まで避難を行う訓練をおこなった。	毎月の避難訓練だけでなく年に1回であっても地域と連携を行い訓練を行うことで、参加者により強く防災意識を高めることができています。
	UNO大会スタッフ会議	1			1		2							3	「みんなの思いをきかせてボックス」の声から生まれた行事。児童館で初めてとなるUNO大会の開催に伴い、実行委員を募り、大会のルール決めや方式等話し合った。	実行委員を募集して、より多くこどもの声を大会に活かすことができた。また、実行委員を通して、子どもたちの成長にもつながった。
	UNO大会	1		5	5		2							12	「みんなの思いをきかせてボックス」の声から生まれた行事。児童館で初めてとなるUNO大会を行った。事前に募集した実行委員が、景品の企画や大会の準備、進行を担った。	こどもの意見を反映する取り組みを職員主導で行うだけでなく、実行委員を募集して、より多くこどもの声を大会に活かすことができた。
	合 計	198	40	139	1349	110	270	94	97	0	0	2	2101			
推 進 活 動	体育館であそぼう	2		7	62	3	13						1	86	体育館で、自由あそびと普段館の中ではできない紙飛行機飛ばしなどの、のびのびと遊びを楽しむ。	広い体育館で走り回り遊べたことで、体を動かしてあそぶことの楽しさを共有することができた。
	合 計	2	0	7	62	3	13	0	0	0	0	1	86			
子ども育成機能 合 計		200	40	146	1411	113	283	94	97	0	0	3	2187			

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

() 年度
児童館
事業
年間
活動
報告
() 児童館

	活動名	実施回数	参加人数										内容	成果と課題	
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					合計
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人			
	のびのびひろば	64	62										124	部屋を開放。おもちゃや絵本など楽しみながら、自由に過ごしてもらえる場としている。	ゆったりとした雰囲気の中で自由に過ごすことができ、利用者同士おしゃべりをしながら楽しそうに過ごす場面も見られた。クラブや取組ではない気軽な利用につながった。
	ばんだこばんだ	36	154										163	季節の工作や遊び、周辺地域での館外活動の他、ハロウィンパレードや消防署と連携した避難訓練など、地域や関係機関と連携した取組も行った。今年度はさつまいも植え～さつまいも掘りといった食育に関する取り組みや子育て講座も取り入れた。	職員と親子一緒に充実した楽しい活動を作ることができた。家ではできないあそびを行うことができ、年度末アンケートからも保護者の満足度が高かったことが伺えた。1年間で保護者間の関係も深まっていき、次年度も利用者の声をききながら一緒にクラブを作っていきたい。

合計	189	407	8	5	1	2	0	486	0	0	0	909	
(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路					件数	相 談 内 容	件数	つないだ機関等		件数
	乳児		児童館にて直接受理						健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達 教育問題 か行・問題 その他		児童相談所		
	幼児		児童相談所							保健所			
	小1～3年（自由来館）		保健所							子ども支援センター			
	小1～3年（学童）		子ども支援センター							幼稚園・保育園			
	小4～6年（自由来館）		主任児童委員							小学校			
	小4～6年（学童）		その他							中学校			
	中学生		{							総合支援学校		{	
高校生								その他			その他		
件数計	0	-					0	-	0	-		0	
(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容					育成・支援内容	成 果 と 課 題				
	アルバムカフェ	2名	主催保護者の指導により、スクラップブックを楽しむ（こどもの写真を各自持参）。また、年2回はハンドメイドなど別の活動を行う。					会場提供、材料や道具等の貸し出し、子どもの見守りなど。	主催されている保護者の方の熱意もあり、募集チラシの作成を始め、多様な取り組みを企画されている。				
	AMIMAMA	2名	主催保護者の指導により、編み物を楽しむ（道具・材料は持参。必要であれば館で貸し出し・糸糸提供も行っている）					会場提供、材料や道具等の貸し出し、子どもの見守りなど。	LINEでやり取りをしながら交流し、開催日も参加できる人が多い日を選んでいく。徐々に参加者も増え交流を楽しんでいる。				
推進活動	活動名	実施回数	活 動 内 容					成 果 と 課 題					
	「利用者アンケート」の結果を受けた取組	随時	アンケート結果とそこから見えてきた課題をおたよりと一緒に配布し地域に公開。課題解決に向けて努める。					利用者の声を聞くことができ、課題や地域のニーズが把握できる。今後の活動につなげたい。					
	館内や児童館掲示板による広報	随時	児童館での取組のみならず、地域での活動においても、チラシやポスターを館内や掲示板に貼り出し、健全育成に関しての啓発を進める。					興味をもってポスターを見たり、チラシを持ち帰る利用者の姿が見られた。					
	児童館だより配布	随時	児童館利用者や「京都市家庭ごみ有料指定袋」引き換えのための来館者などに対して、児童館だよりやチラシを配布する。					児童館のPRやその後の利用につながった。地域への配布もさらに広げていきたい。					
	児童館だよりの地域回覧	月1回	地域の協力のもと、児童館だよりを地域住民に広く配布する。屋内外の掲示板にも貼り出す。					児童館の活動を地域住民に広く周知できた。					
	ホームページによる広報	月1回	毎月末に更新。児童館や学童クラブに関する概要、翌月の取組などをお知らせする。					サイト内でポスターやおたより等の閲覧も可能とする。児童館だよりにもQRコードも掲載している。					

※は基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動〔①乳幼児クラブ活動②乳幼児の広場活動〕(2)家族参加を促進する活動

() 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

() 児 童 館 <様式10-3>

地	活動名	実施回数	主 催	参 加 人 数							連携団体	成果と課題	
				乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人			合 計
					自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
	(1)地域住民との交流を促進する活動	10	養正社会福祉協議会・養正民生児童委員協議会	22					44	63	129	養正保育所、東山総合支援学校	今年度は昨年度に引き続き、民生委員企画であるトークCAFEが開催できたりと各団体が参画した内容で行うことができました。また、支援学校の生徒がとても積極的に乳幼児親子に関わってくれて、とてもよい多世代交流の場にもなっていた。しかしながら親子の参加が少なく、広報等力も入れたが参加にはつながらなかった。保育園等への入所が早い事・地域の乳幼児が少ないことなど様々な要因が考えられるが、必要としているが届いていない世帯にも届くよう方策を練る。
	すこやかサロンとの交流	2	養正社会福祉協議会		2	60	4	11	5		104	養正社会福祉協議会、京都市高野地域包括支援センター	地域の高齢者サロンと交流ができ、児童たちにとってもよい機会となった。ただ、1回目は夏休みに合わせて真夏の開催となるため、高齢者の方にとっては参加が難しいということもしっかりと考慮していく必要がある。
	ようせいハロウィンデイ	1	養正児童館	5	14	5	2	2	5		44	養正社会福祉協議会、養正民生児童委員協議会、養正体育振	地域の方々の協力も得ながら進められ、季節のイベントを多世代で交流しながら楽しむことができた。地域を盛り上げる児童館行事として定着を図りたい。
	おもちゃ病院	1	養正児童館	4	3						23	SKYおもちゃ病院	物を大切にする気持ちをはぐむことにつながり、児童館で行っていることで地域貢献にもつながっている。年に2回ほど開催できればなおよいだろう。
	クリーンウォーク	2	養正児童館		6	10	1	2		1	20	飛鳥井公園愛護協力会	地域団体とも連携をしつつ、楽しみながら地域のゴミ拾いを行うことで、エコへの意識を高めることができた。また、地域貢献を行うことで、児童の達成感や児童館のPRにもつながった。
	ようせいおばけやしきに行こう	1	養正児童館		4	4	1	2			11	ようせい 養正子ども会 学校等	学区内で行われる大きな取り組みに参加することで、地域諸団体との連携を深めることができた。

域 基 本 社 促 進 機 能	福 祉	「やんちゃフェスタ」へ行こう	1	養正児童館		2	6		1			9	京都市児童館連盟	様々なレクリエーションに参加することでリフレッシュできた。
		ようせいワイワイフェスタ	1	養正地域子育て支援ステーションネットワーク	32	40	3	32	1	9	79	196	養正小学校、養正保育所、メグミ幼稚園、小規模保育園キコレ、養正民生児童委員協議会	学校や地域と連携しながら今年度も開催できた。学童クラブの保護者からも協力を得ることができ、館への理解にもつながった。小学校の行事と同時開催であり、スタッフの確保等の課題はあるが、地域内をつなぐおまつりとしてより改善を図ってきたい。
		合 計	19	—	63	71	88	40	19	63	143	536		
	活 動	活 動 内 容		活 動 人 数				成 果 と 課 題						
		(2) ボランティア活動の推進		遊びの中での子どもの見守り				106	106	年間を通して支援が必要な児童について見守ってくださっていた。また、遊びを通して子どもと積極的に関わる姿が見られた。				
	能 動	連 携 団 体 等		連 携 内 容					成 果 と 課 題					
		養正小学校		毎月1回、「学校連絡会」として、養正小学校との連携を図り、子どもたちの様子や取組等の情報交換を行う。					児童の様子を中心に情報共有を行うことで、小学校との連携がさらに深まっている。					
		養正小学校、養正小学校PTA		小学校とPTA主催の「ようせいクイズラリー」へのあそびコーナー出展と当日に児童を引率して参加する。また、小学校主催の「クリーン大作戦」に職員と児童とで参加する。					小学校とPTAとが主催する行事への協力を通して、より連携を密にすることができている。					
		養正民生児童委員協議会、養正小学校、養正保育所、メグミ幼稚園、小規模保育園キコレ、左京子どもはぐくみ室		年4回、「養正地域子育て支援ステーションネットワーク会議」として、情報交換や事業報告などを行う。また、年1回「研修会」を行い、地域の子育て支援施設職員の研鑽の場を設ける。					各施設の様子や取組など、様々な情報を共有することができた。連携しながら取組を行うこともでき、地域への支援につなげることができた。					
東山総合支援学校、高野中学校、養正小学校、養正保育所		毎月1回、「養正地域教育機関連携協議会」として、各施設長が集まり、情報交換を行う。					各施設の取組や様子を知ることができた。地域の課題を共有し、連携しながら動くことができた。							
養正社会福祉協議会、養正老人クラブ連合会養寿会		地域で行われている「養正こやかサロン」に職員が参加し、養正社会福祉協議会や養寿会、また地域住民との交流を行う。					参加することで地域の高齢者の声を直接聞くことができ、地域団体との連携も深まっている。また児童館の宣伝にもつながっている。							

		(3) 地域との連携を促進する活動	<p>養正自主防災会</p> <p>自主防災会主催の「養正学区総合防災訓練」に職員が参加し、訓練見学および実際の体験を行う。</p>	<p>参加することで自主防災会との連携を深め、相互協力できる関係を築くことができている。また児童館の宣伝にもつながっている。</p>
			<p>養正体育振興会</p> <p>体育振興会主催の「スポーツに親しむ会」に職員が参加し、運営補助等を行う。</p>	<p>参加することで体育振興会との連携を深め、相互協力できる関係を築くことができている。また児童館の宣伝にもつながっている。</p>
			<p>ようせい子ども会、養正小学校、左京西部いきいき市民活動センター</p> <p>ようせい子ども会主催の「ようせいおばけやしき」に職員が参加し、コーナー展開などの運営補助を行う。</p>	<p>参加することでようせい子ども会との連携を深め、相互協力できる関係を築くことができている。また児童館の宣伝にもつながっている。</p>

()年度 児童館事業年間活動報告書

地	基本活動	(4) 児童館を支える地域組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度		議題／取組内容					
			児童館運営協力会		養正社会福祉協議会 養正市政協力委員連絡協議会 養正民生児童委員協議会 下鴨少年補導委員会養正支部 養正体育振興会 養正養寿会連合会 養正小学校PTA 養正小学校 高野中学校 養正交通安全会 養正自主防災会、 左京消防団養正分団		年1回		以下の内容を、文章や写真とともにお知らせする。 ・児童館概要 ・事業報告、紹介 ・利用者アンケート結果報告 ・次年度年間活動報告 ・年間利用状況報告					
域	福祉	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先(団体・機関等)							
			「養正なかよしサロン」への会場提供		子育て支援、地域住民とのふれあい活動のため(月1回)		養正社会福祉協議会、養正民生児童委員協議会、養正保育所、東山総合支援学校		干支工作などの季節の工作、おた。特に今年度は東山総合支援者・スタッフの方々に関わる様楽しむことができた。児童館とを生み出していけるよう、今後い。					
能	推進活動	(6) 地域調査活動	調査名		調査目的		調査対象		調査主体		調査方法			
			児童館利用者共通アンケート		利用者の声を聞き今後の活動につなげていくため		自由来館乳幼児保護者 自由来館児童 学童クラブ登録児童 学童クラブ保護者 児童館利用の地域の方		京都市社会福祉協議会		選択、自由記述式アンケート(WEB上での回答、来館時の配布)		利用者の思いや地域のニーズなどができ、今後活動を進めていく回収率を上げるためにどのような	
			幼児クラブ「ぼんだこぼんだ」年度末アンケート		利用者の声を聞き今後の活動につなげていくため		幼児クラブ保護者		養正児童館		自由記述式アンケート(最終取組日に配布)		「親子ともども楽しみにしているの声が聞かれ、職員の励みにかけなど、具体的な取組名も挙げた。	
			年度末実施のアンケート調査(その他複数の乳幼児活動)		今後の活動につなげていくため		活動利用の保護者		児童館における各取組主催者		自由記述式アンケート(各取組最終日に配布)		普段の会話の中では出てこないことができた。利用者のニーズをい。	
			居場所についてのアンケート		こどもの意見を市政に生かすため		小学生、中学生		京都市		選択、自由記述式アンケート(WEB上での回答)		全市での取り組みに養正児童館政治に活かされるという経験を	



<様式10-4>
()

成果と課題
日々多くの事業を行っていることを知っていただき、地域諸団体の方々との関係を一層深めることができました。また、児童館に対しての多くのご意見をいただくことができ、事業に生かすことができている。 様々な情報交換を行う中で、今後も地域の声やご意見、ニーズを把握するとともに、活動に生かしていきたい。

成果と課題

もちや作りや茶道体験、ブックカフェを行う学校の生徒たちが積極的に子どもたちや保護子を向うことができ、世代を越えた関わりもして、子育て支援や地域の様々なつながりも場所提供や取組において協力していき

成果と課題

どを知ることができた。課題も把握すること上での貴重な情報となった。昨年度に続き、に取り組みを進めていくかが課題となってい
た」「他の館のお手本になるような施設」なつながった。さつまいも掘りや水遊び、おでがり、今後の活動の参考となる内容であっ
ことも含めて、様々な利用者の思いを知るこ把握し、今後の様々な取組につなげていき

として参加ができたことで、自分たちの声ができることができました。

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報	児童館だより	月1回	養正小学校児童と教職員、東山総合支援学校、養正図書館、養正保育所、ほっこりはあと出町、ようせいこども会、メグミ幼稚園、養正社会福祉協議会、養正民生児童委員協議会、市政協力委員、地域住民他	館内での掲示と配布、関係機関へ直接配布、小学校での配布依頼、主任児童委員への配布依頼、会議等での配布、地域回覧など	毎月の取組、取組の様子掲載、児童館からのお知らせなど	地域に広く児童館を知ってもらうため、毎月地域での回覧や小学校からの全家庭配布も行っていただいた。また、近隣の子育て支援関係機関や左京区役所への設置など、広範囲での広報により、利用者の増加につながっている。
	児童館利用のお知らせ	年1回	児童館利用者	館内での配布、児童館掲示板にてお知らせ	児童館の利用、遊戯室の使い方などについて	児童館の利用の仕方やルールなどの周知のために作成。安心、安全な利用のために配布する。ルール等に関して視覚的にも明示することで、利用者の理解しやすさにもつながった。
	児童館利用案内	年1回	児童館利用者（保護者向け）	館内掲示	館内図、避難経路や非常口の案内、お願いなど	掲示や口頭での周知を行う。説明時に活用できた。
	各取り組み・行事のポスター、チラシ (毎月の取組：「めばえ広場」「ぞうさんプレイダー」「ほっこりヨガ」「おはなし会」「養正なかよしサロン」「アルバムカフェ」「はなまるひろば」) その他行事：「子育て講座」「ひなたぼっこ」「てづくりウィーク」「おもちゃ病院」「児童館deフードドライブ」「ようせいハロウィンデー」「ようせいワイワイフェスタ」「クリスマスコンサート」「ようせいクリーンウォーク」「ベイブレード大会」「UNO大会」など)	毎月1回 ～ 随時	児童館利用者、地域住民 (乳幼児親子～高齢者)	ホームページ、児童館内配布、掲示、屋外掲示板、カフェボード、近隣へのポスター掲示依頼、養正社会福祉協議会・養正民生児童委員協議会・養正小学校・養正保育所・東山総合支援学校等へのポスター掲示	取組の日時や内容のお知らせ	ポスターを作成し、遊具や取組の様子を掲載することで、利用者の興味付けにつながり、また、利用にもつながった。関係機関と協力しながら広報に努めることで、より一層の利用拡大を図っている。
	利用者アンケート実施のおしらせ、集計結果	各年1回	児童館利用者、地域住民	各関係機関や地域への配布	実施日時や内容、集計結果のお知らせ	おしらせ掲示の他、声掛け等により、利用者にも協力していただくことができた。集計結果については地域や関係機関等幅広くお知らせをする。
	左京区役所保健福祉センター子どもはぐくみ室発行の「左京はぐくみだより」及び「子どもはぐくみアプリ」	月1回	児童館利用者、地域住民	「左京区役所保健福祉センター子どもはぐくみ室」より各子育て支援関係機関へ冊子を配布。また、WEB上に掲載	取組の日時や内容のお知らせ	様々な関係機関の情報が一目で分かり、本誌の情報により興味を持って利用される方々も多かった。
	児童館ホームページ	月1回	地域住民他	毎月末にページ内容を更新、翌月の取組の紹介を行う	児童館の概要、毎月の取組など	学区外からの利用もある。ポスター、児童館だより等の掲載を行うことで、ホームページを閲覧しての来館も多く見られた。今後は、更新回数を増やすことや、SNSの活用等、保護者のニーズに合う方法での広報も検討していく必要がある。

活	幼児クラブ「ぱんだこぱんだ」 入会募集ポスター、チラシ	年1回	児童館利用者、地域住民、 地域施設利用者	館内での掲示と配布、関係機関 への配布とポスター掲示依頼、 近隣施設へのポスター掲示依頼	取組の日時や内容、費用等の詳細をお知ら せし、入会案内を行う	ポスターやチラシでの広報を広範囲に行う。興味を持たれる親子 が増え、クラブへの登録につながった。
動						